

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限（2009年11月30日設定）
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてインドネシアの金融商品取引所に上場されている株式に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラス J」の投資証券（米ドル建て）およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）」の受益証券（振替受益権を含みませぬ。）を主要投資対象とします。
組入制限	<ul style="list-style-type: none">・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。・株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時（毎年5月12日および11月12日。休業日の場合は翌営業日。）に、基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないことがあります。

運用報告書（全体版）

イーストスプリング・ インドネシア株式オープン

第30期（決算日 2024年11月12日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・インドネシア株式オープン」は、上記の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

（受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで）

ホームページアドレス：<https://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配)	額			投資信託 組入比	純資産 総額
		税金 分	込 配	み 期 騰 落 率		
26期(2022年11月14日)	円 10,625		円 300		% 94.7	百万円 8,050
27期(2023年5月12日)	10,444		0	△1.7	97.7	9,290
28期(2023年11月13日)	10,586		0	1.4	98.0	9,932
29期(2024年5月13日)	10,402		0	△1.7	96.9	9,652
30期(2024年11月12日)	10,097		0	△2.9	94.7	8,775

(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

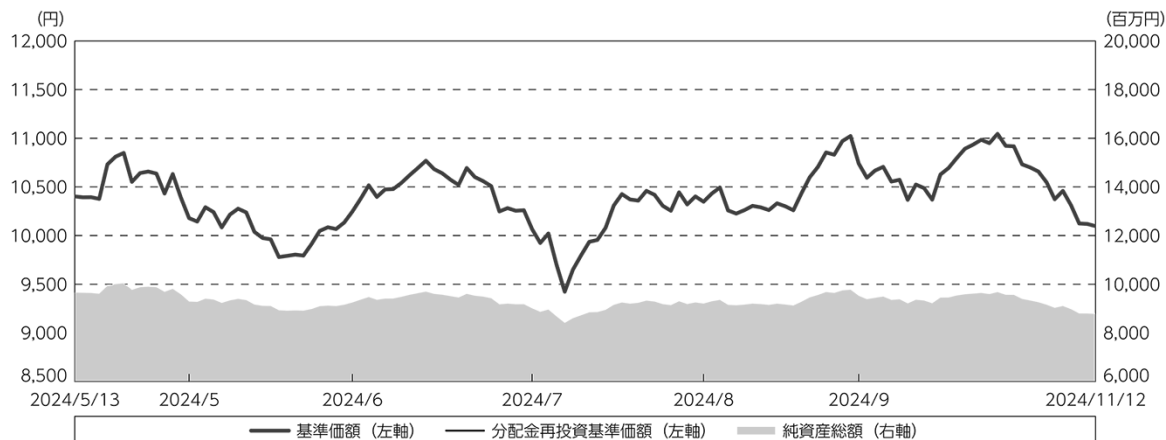
(注) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

○当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基準	額		投資信託 組入比	託 券 率
		騰 落	率		
(期首) 2024年5月13日	円 10,402		% -		% 96.9
5月末	10,179		△2.1		96.6
6月末	10,247		△1.5		97.8
7月末	10,067		△3.2		97.0
8月末	10,348		△0.5		97.1
9月末	10,740		3.2		97.6
10月末	10,658		2.5		95.0
(期末) 2024年11月12日	10,097		△2.9		94.7

(注) 騰落率は期首比です。

基準価額等の推移について



期首：10,402円

期末：10,097円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 2.9% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2024年5月13日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は下落しました。

(下落要因)

- ・投資対象ファンドを通じて保有する株式が下落したこと。

投資環境について

インドネシア株式市場

期初から2024年6月半ばにかけては、インドネシアルピアが下落する中、インドネシア株式市場は軟調な展開となりましたが、その後は9月半ばにかけて米長期金利が低下を続けたことから、インドネシアルピア高基調に転じると、銀行株やエネルギー株を中心に堅調な展開となりました。しかし、9月18日にインドネシア中央銀行（BI）が0.25%の利下げを行なった後、11月5日の米大統領選挙でトランプ前大統領の再選の確率が高まる中、米ドル高、米長期金利上昇となり、インドネシアルピア安が進んだ結果、今後のBIの利下げが困難になるのではないかとの思惑からインドネシア株式市場は期末にかけて下落基調をたどりました。

為替市場

期初から2024年6月後半にかけて、米国での好調な経済指標の発表を受け、インドネシアルピアは対米ドルで下落しました。その後、9月半ばにかけては、米国のインフレの落ち着き、雇用悪化への懸念などから米長期金利が低下基調をたどる中、インドネシアルピアは対米ドルで上昇を続けました。10月以降は、米大統領選挙でトランプ前大統領の返り咲きへの可能性が高まる中、米ドル高、米長期金利上昇が続いたことからインドネシアルピアは対米ドルで下落しました。一方、円は日銀の利上げ、円キャリートレードの解消などから7月半ばから8月初めにかけて急激に対米ドルで上昇しましたが、期末にかけて米ドル高となったことから、期初の水準に対しインドネシアルピアは円に対しほぼ変わらずで終わりました。

国内債券市場

期初から2024年7月後半にかけては、日本国債利回りは米長期金利に連動する形で方向感のない展開が続いていましたが、7月末に日銀が0.25%の利上げを実施し、円キャリートレードの解消による大幅な円高米ドル安が進んだ結果、日本株式市場が8月初めに急落したため、安全資産である日本国債が買われ利回りは急低下しました。その後は一進一退の展開が続いていましたが、10月以降は米長期金利の上昇に連れて日本国債の利回りも上昇しました。

ポートフォリオについて

当ファンド

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ「インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ」（以下「インドネシア・エクイティ」ということがあります。）の組入比率を高位に保つよう運用しました。

インドネシア・エクイティ

主としてインドネシアの金融商品取引所に上場されている株式を実質的な主要な投資対象として、企業の本質的な価値を重視したバリュエーション投資を基本とし、ボトムアップ・アプローチに基づく銘柄選択により、中長期的な超過収益の獲得を目指した運用を行いました。

当期は好調な貸出の伸びや資金調達コスト低下等による利ざやの拡大などを好感され株価が上昇したBank Central Asiaなどの保有がプラスに寄与した一方、海外メーカーによる生産設備増強による需給悪化懸念などを嫌気され株価が下落した紙・パルプメーカーのIndah Kiat Pulp & Paperなどの保有がマイナスに作用しました。

イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型I（適格機関投資家向け）

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス（1-10年債）を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第30期	
	2024年5月14日～ 2024年11月12日	
当期分配金 (対基準価額比率)	—	—%
当期の収益	—	
当期の収益以外	—	
翌期繰越分配対象額	1,829	

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) ー印は該当がないことを示しています。

○今後の運用方針について

当ファンド

主要な投資対象の一つであるインドネシア・エクイティの組入比率を高位に保つことを基本とします。

インドネシア・エクイティ

2024年11月初めの米大統領選挙でトランプ前大統領の再選が決まり、今後は米ドル高、米長期金利上昇が予想されることから、インドネシア中央銀行(BI)による政策金利の引き下げに対する影響を注視する必要があります。当該ファンドでは、インドネシアの新政権による政策により消費関連セクターが恩恵を受けることが予想されることから引き続き強気に見ています。また、市場環境の構造的な変化が予想される通信セクターについてもポジティブなスタンスを取っています。今後は銀行セクターについては、金利が高止まりする可能性があることから、資金調達力が重要になってくると考えており、引き続き銘柄選別を慎重に行います。インドネシアの長期的な見通しについては、人口動態の有利性や健全なマクロファンダメンタルズなどを考慮し、引き続き前向きに捉えています。なお、株式市場の予想株価収益率は過去10年の平均値に比べて現在10%以上割安です。今後の状況を注視しつつ、市場の調整局面はファンダメンタルズが堅固な企業の株式を割安な水準で組み入れる好機と考えています。

イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型I(適格機関投資家向け)

今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行いベンチマークであるICE BofA 国債インデックス(1-10年債)を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年5月14日～2024年11月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	76	0.734	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(31)	(0.303)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(43)	(0.414)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.017)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.015	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.006)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 ）	(1)	(0.009)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
（ そ の 他 1 ）	(0)	(0.000)	信託管理事務に係る手数料
合 計	78	0.749	
期中の平均基準価額は、10,373円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

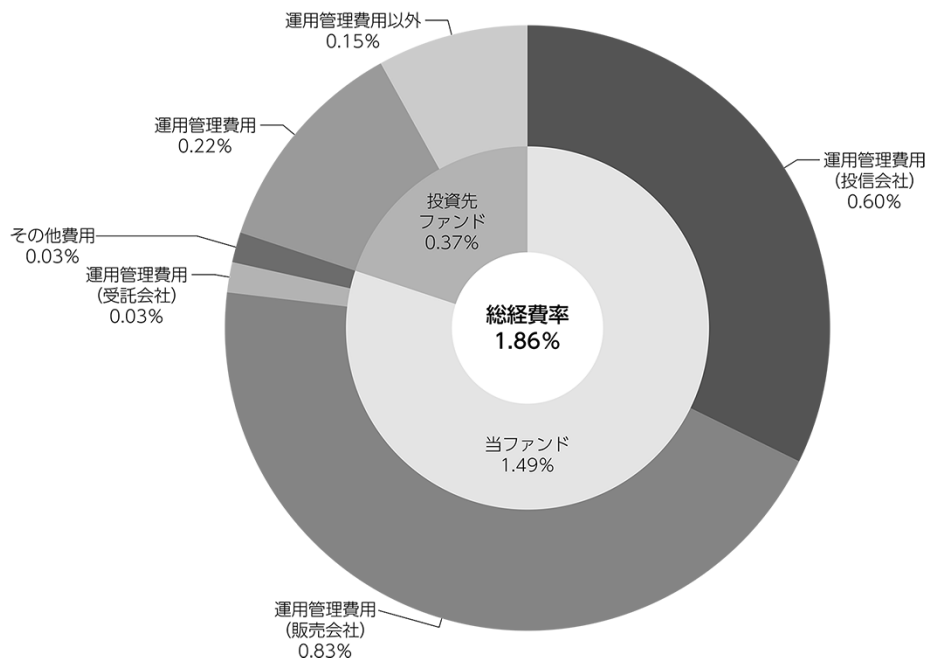
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.86%です。



(単位:%)

総経費率(①+②+③)	1.86
①当ファンドの費用の比率	1.49
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.22
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.15

(注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券です。

(注) ①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年5月14日～2024年11月12日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	米ドル建 ルクセンブルグ籍	千口	千米ドル	千口	千米ドル
	イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ	—	—	308	5,500

(注) 金額は受渡し代金です。

(注) 単位未满是切捨てです。

○利害関係人との取引状況等

(2024年5月14日～2024年11月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年11月12日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		期首(前期末)	当 期 末		比 率
		口 数	口 数	評 価 額	
	イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)	千口 15,851	千口 15,851	千円 16,627	% 0.2
合	計	15,851	15,851	16,627	0.2

(注) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 口数・評価額の単位未满是切捨てです。

ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

銘柄		期首(前期末) 口 数	当 期 末		比 率	
			口 数	評 価 額		
				外貨建金額		邦貨換算金額
	イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ	千口 3,456	千口 3,147	千米ドル 53,918	千円 8,294,315	% 94.5
合	計	3,456	3,147	53,918	8,294,315	94.5

(注) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 口数・評価額の単位未满是切捨てです。

○投資信託財産の構成

(2024年11月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	16,627	0.2
投資証券	8,294,315	93.5
コール・ローン等、その他	560,892	6.3
投資信託財産総額	8,871,834	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注) 外貨建純資産(8,294,315千円)の投資信託財産総額(8,871,834千円)に対する比率は93.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2024年11月12日における邦貨換算レートは、1米ドル=153.83円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年11月12日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	8,871,834,798
コール・ローン等	560,889,928
投資信託受益証券(評価額)	16,627,765
投資証券(評価額)	8,294,315,416
未収利息	1,689
(B) 負債	96,298,290
未払解約金	26,539,721
未払信託報酬	68,365,024
その他未払費用	1,393,545
(C) 純資産総額(A-B)	8,775,536,508
元本	8,691,516,819
次期繰越損益金	84,019,689
(D) 受益権総口数	8,691,516,819口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,097円

(注) 元本の状況

期首元本額 9,279,953,582円

期中追加設定元本額 852,630,368円

期中一部解約元本額 1,441,067,131円

(注) 1口当たり純資産額は1.0097円です。

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

○損益の状況 (2024年5月14日～2024年11月12日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	113,148
受取利息	113,148
(B) 有価証券売買損益	△ 196,455,368
売買益	42,059,688
売買損	△ 238,515,056
(C) 信託報酬等	△ 69,764,509
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 266,106,729
(E) 前期繰越損益金	260,923,964
(F) 追加信託差損益金	89,202,454
(配当等相当額)	(1,135,591,764)
(売買損益相当額)	(△1,046,389,310)
(G) 計(D+E+F)	84,019,689
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	84,019,689
追加信託差損益金	89,202,454
(配当等相当額)	(1,135,591,764)
(売買損益相当額)	(△1,046,389,310)
分配準備積立金	454,332,040
繰越損益金	△ 459,514,805

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程
計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,135,591,764円)および分配準備積立金(454,332,040円)より分配対象収益は1,589,923,804円(10,000口当たり1,829円)ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

当期の分配金は、基準価額水準および市況動向等を勘案し、見送らせていただきました。

○お知らせ

該当事項はありません。

<参考情報>

■投資対象とする投資信託証券の仕組み

ファンド名	イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ	
形態	ルクセンブルグ籍外国投資法人/オープン・エンド型	
表示通貨	米ドル	
運用の基本方針	主として、インドネシアの企業の株式または株式関連証券に投資を行い、長期的な成長を目指した運用を行います。	
主な投資対象	以下の企業の株式または株式関連証券を主要投資対象とします。 ・インドネシアで設立または上場している企業 ・インドネシアにおいて主に事業展開を行っている企業 なお、ADR、GDR等の預託証券、転換社債、優先株、ワラント債にも投資することができます。	
ベンチマーク	MSCI Indonesia 10/40 Index (MSCIインドネシア 10/40指数) ※ ¹	
ファンドの関係法人	運用会社	イーストスプリング・インベストメンツ (シンガポール) リミテッド
	管理会社	イーストスプリング・インベストメンツ (ルクセンブルグ) S. A.
申込手数料	ありません。	
運用報酬	年率0.225%	
管理費用等	年率0.15%程度	
その他の費用・手数料	組入有価証券の売買時に発生する売買委託手数料等がかかります。	
設立日	2007年7月2日	
決算日	毎年12月31日	

ファンド名	イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)	
形態	国内籍証券投資信託/適格機関投資家私募	
表示通貨	日本円	
運用の基本方針	わが国の国債を中心に、国債、政府保証債、地方債等の公共債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。	
主な投資対象	日本の国債、政府保証債、地方債	
ベンチマーク	ICE BofA 国債インデックス (1-10年債) ※ ²	
ファンドの関係法人	委託会社	イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
	投資顧問会社	イーストスプリング・インベストメンツ (シンガポール) リミテッド
	受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社
主な投資制限	・株式 (新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。) への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ・投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。	
申込手数料	ありません。	
信託報酬	年率0.22% (税抜0.2%)	
その他の費用・手数料	監査費用、有価証券売買時の売買委託手数料等がかかります。	
設定日	2002年8月26日	
決算日	毎年2月25日 (休業日の場合は翌営業日)	

※1 MSCI指数はMSCI Inc. が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

※2 ICEの指数データは、ICE Data Indices, LLC、その関係会社 (以下「ICE Data」) 及び/またはその第三者サプライヤーの財産です。ICE Data及びその第三者サプライヤーは、その使用に関して一切の責任を負いません。

「イーストスプリング・インドネシア株式オープン」が主要投資対象とする「イーストスプリング・インベストメント - インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ」を含む「イーストスプリング・インベストメント - インドネシア・エクイティ・ファンド」の情報をご報告申し上げます。法令等に則り、2023年12月31日を基準日とするAnnual Report（監査済み）を基に、委託会社が抜粋、翻訳したものを記載しております。

損益計算書及び純資産変動計算書

	2023年12月31日に終了した事業年度	米ドル
期首純資産		93,991,470
収益		
配当金		2,613,165
預金利息		42,966
収益合計		2,656,131
費用		
運用報酬		595,349
運営費用及びサービス費用		144,598
その他費用		460
費用合計		740,407
純投資収益（損）		1,915,724
投資有価証券の売却に係る実現純利益（損）		(3,745,228)
外国為替に係る実現純利益（損）		5,791
実現純利益（損）		(3,739,437)
投資有価証券に係る未実現評価益（損）の変動額		5,127,370
外国為替に係る未実現評価益（損）の変動額		30,130
未実現評価益（損）の純変動額		5,157,500
運用による純資産の純増加額（減少額）		3,333,787
資本金の変動		
投資証券の発行		24,071,088
投資証券の解約		(16,066,622)
当期の純資産の変動額		11,338,253
期末純資産		105,329,723

投資有価証券明細表 (2023年12月31日現在)

(米ドル表示)

銘柄	数量	通貨	評価金額	対純資産 比率(%)
公認の証券取引所に上場されているまたは他の規制 ある市場で取引されている譲渡可能な有価証券				
株式				
Indonesia				
Amman Mineral Internasional PT	2,685,200	IDR	1,142,304	1.08
Aneka Tambang Tbk	22,265,800	IDR	2,467,494	2.34
Astra International Tbk PT	9,882,500	IDR	3,630,189	3.45
Bank Central Asia Tbk PT	13,530,300	IDR	8,262,646	7.84
Bank Mandiri Persero Tbk PT	26,153,720	IDR	10,286,570	9.77
Bank Negara Indonesia Persero Tbk PT	15,055,572	IDR	5,262,698	5.00
Bank Rakyat Indonesia Persero Tbk PT	28,424,417	IDR	10,569,551	10.04
Barito Pacific Tbk PT	42,247,603	IDR	3,659,351	3.47
Charoen Pokphand Indonesia Tbk PT	11,888,500	IDR	3,883,524	3.69
Cisarua Mountain Dairy PT TBK	3,313,300	IDR	864,311	0.82
Dayamitra Telekomunikasi PT	21,287,842	IDR	975,579	0.93
GoTo Gojek Tokopedia Tbk PT	635,292,500	IDR	3,554,015	3.37
Indah Kiat Pulp & Paper Tbk PT	5,745,600	IDR	3,110,041	2.95
Indofood CBP Sukses Makmur Tbk PT	5,390,000	IDR	3,703,570	3.52
Indofood Sukses Makmur Tbk PT	5,853,200	IDR	2,453,931	2.33
Indosat Tbk PT	2,635,300	IDR	1,605,318	1.52
Kalbe Farma Tbk PT	38,937,400	IDR	4,070,528	3.86
Mayora Indah Tbk PT	10,254,100	IDR	1,659,374	1.58
Merdeka Copper Gold Tbk PT	24,477,050	IDR	4,297,135	4.08
Sarana Menara Nusantara Tbk PT	42,404,800	IDR	2,728,569	2.59
Semen Indonesia Persero Tbk PT	9,694,285	IDR	4,035,900	3.83
Sumber Alfaria Trijaya Tbk PT	25,313,600	IDR	4,821,801	4.58
Telkom Indonesia Persero Tbk PT	39,378,900	IDR	10,108,542	9.60
Unilever Indonesia Tbk PT	16,729,000	IDR	3,835,978	3.64
			<u>100,988,919</u>	<u>95.88</u>
株式合計			<u>100,988,919</u>	<u>95.88</u>
その他の譲渡可能な有価証券				
株式				
Indonesia				
Berlian Laju Tanker Tbk PT	35,965,332	IDR	75,744	0.07
			<u>75,744</u>	<u>0.07</u>
株式合計			<u>75,744</u>	<u>0.07</u>
その他の譲渡可能な有価証券合計			<u>75,744</u>	<u>0.07</u>
投資総額			<u>101,064,663</u>	<u>95.95</u>
その他資産			<u>4,265,060</u>	<u>4.05</u>
純資産			<u>105,329,723</u>	<u>100.00</u>

「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）」の直近の決算にかかる運用状況をご報告申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年2月28日～2024年2月26日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	23	0.219	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(15)	(0.143)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(2)	(0.022)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(6)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.014	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(2)	(0.014)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	金銭信託に係る手数料等
合 計	25	0.233	
期中の平均基準価額は、10,610円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○組入資産の明細

(2024年2月26日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期		期 末		残存期間別組入比率		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちB B格以下 組 入 比 率	5年以上	2年以上	2年未満
					%	%	%
国債証券	千円 654,500	千円 669,730	% 92.9	% —	% 43.8	% 34.6	% 14.5
合 計	654,500	669,730	92.9	—	43.8	34.6	14.5

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注) —印は組入れなしです。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期		期 末		償 還 年 月 日
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	額 面 金 額	
国債証券	%	千円	千円		
第351回利付国債 (10年)	0.1	50,000	49,616		2028/6/20
第354回利付国債 (10年)	0.1	59,000	58,281		2029/3/20
第359回利付国債 (10年)	0.1	175,000	172,032		2030/6/20
第67回利付国債 (20年)	1.9	45,000	45,055		2024/3/20
第75回利付国債 (20年)	2.1	20,000	20,438		2025/3/20
第80回利付国債 (20年)	2.1	38,000	39,011		2025/6/20
第87回利付国債 (20年)	2.2	55,000	57,318		2026/3/20
第91回利付国債 (20年)	2.3	135,000	142,406		2026/9/20
第117回利付国債 (20年)	2.1	77,500	85,570		2030/3/20
合 計		654,500	669,730		

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。